

学校関係者評価・自己評価

1. 教育理念 建学の精神に従い、カトリックの精神に基づいた幼児教育を行う
 教育目標 キリスト教精神に基づく喜びのある教育
 元気に遊べる子
 礼儀正しく素直な子
 よく見よく聞く子

2. 重点目標 ・園児の主体性を大切にし、保育者はそれが育つように、活動を計画し、取り組みにも注意を払う。
 ・体操・リトミックを取り入れることにより、体を思いっきり動かす体力のある子、いつでもはつらつとした子どもの育成を目指す。
 ・英会話を習うことにより、異文化を知り、将来国際人として視野が広い人間になる基礎作りを行う。

3. 評価目標 ・子どもの主体性を育てる保育ができたか
 ・子ども達の運動能力、リズム感は養われたか
 ・英語に興味を持ち積極的に使おうとすることができたか

4. 正課の体操、英語、リトミックについて保護者から
 ・とても良い取り組みだと思います。家庭ではできないことを幼稚園で実施していただいで非常に感謝しております。
 ・とても楽しんでいました。
 ・運動・語学・音楽と五感をフルに使い、バランスよく触れられて非常に良いと思います。子どもは楽しみにしていました。いろいろな経験はこれからの成長に繋がると期待しております。
 ・楽しく学ばせていただき、体操でこんなことをした、英語でこんなことを言った、リトミックでこんな動きをしたと嬉しそうに伝えてくれます。
 ・専門の先生からの指導が受けられてとてもありがたいです。
 ・保護者も見学でする機会があったらよかったです。
 ・運動会の時の演技も素敵でした。

5. 【2024 度重点的に取り組んだこと】
 子ども達が主体的に活動できるように、保育者は言葉がけや環境づくりに努めていくようにしました。特に年長ではできるだけ子どもたちが話し合いを行い、自分たちで考え、行事を進めていくように努めました。

結果：運動会で行う競技、競技の説明文作成、並びにその発表を子どもたちが考えて行いました。また、クラス対抗リレーでは自分たちが勝つにはどういう順番で走ったらよいかをクラス内で話し合って決めました。

子ども達は話し合いにも慣れて、特定の子のみが意見を言うのではなく、それぞれが自分の考えを言って、友達の意見にも耳を傾けより良い方法を編み出すまでになったようです。

数年前に園の行事から外した「音楽会」は、クラスで音楽遊びをするところから好きな曲の合奏をしたいという子どもたちの声で練習をはじめ、結果保護者に見ていただく発表をすることができました。

また、年長は段ボールを使って遊園地の遊具を作り、年中、年少に招待状を出して遊んでもらうことをしましたが、これも教師主体ではなく子どもたちの声からの催しでした。主体性を大切にする取り組みに保育者も慣れていったように思います。

毎週火曜日に総合体育の指導員から体操を習い、子ども達は元気に運動に取り組み、もともと活発な子どもは更に運動神経が育ち、運動が苦手な子どもも運動に対する苦手意識が薄らいでいます。

水曜日にネイティブスピーカーと日本人のペアで英語を習っていることにより、英語の歌を楽しみながら歌い、異文化を知るきっかけにもなっていました。また、ネイティブスピーカーの先生も積極的に英語で話しかける子どもが増えています。

木曜日のリトミックでは音の高低を聞き分けて、体を動かすことができるようになっていきます。また、いろいろなリズムを体で感じ指示に従って体で表現することができるようになっていきます。

体操、英語、リトミックを指導していただき幼稚園の活動に幅ができました。

東京都のすくわくプログラムにも参加し、リニューアルした園庭泥場で子どもが疑問に思ったことを子ども主体で考察しました。

6. 今後の課題

- ・ここ数年子どもの主体性を大切にする保育に取り組んでいますが、職員も慣れてきました。今年度も更に環境設定、言葉がけの方法を磨き小学校入学前の10の姿に近づくよう保育に当たりたいと思います。
- ・体操、英語、リトミックは引き続き同じところから講師を派遣してもらっているので、更に園児のスキルアップにつなげたいと思っています。

7. 学校関係者委員からの講評

少子化が進行する中であって、「他園との差別化で園児獲得のために預かり保育をより充実させていこう」とのお考えを活かし、教育環境改善にも目配りし、園児、保護者、教職員がそれぞれ理解と連携を強め、「子どもたちが主体的に行動できる保育を」引き続き心がけておいでの様子が伺えます。

学校長として学校法人聖心学園の教育理念・教育目標に適った多様で豊かな取り組みに対して、心から感謝申し上げます。

保護者の皆さまからは、「預かり保育」「挨拶」「園の約束」「プライバシー」などに関わるところご指摘、ご意見をいただきました。その上で、なにより、先生方の「子ども主体の保育」を目指した「泥遊びや毎日のプール遊び」などの取り組みが、保護者の眼からみて園児の豊かな成長を実感できるまでになってきたことに、サンタセシリア幼稚園教育への強い信頼を見ることができます。またご意見の中には、「裏のこみち」「同窓会」などの提案がみられ、課題として確認し必要な対応が求められます。

先生方（振り返り・年度初めのご自身の目標に照らして）からは、新任の先生へ経験ある先生からの伝え合い、学び合いが見て取れ、その継承性を意識された先生同士の取り組みが見てとれます。「特別に配慮が必要な子の多いクラス」での取り組みを「学びの多い1年でした」としたことなど、子どもたち、そして保護者への寄り添い方など課題の指摘も見ておきたい。全体として、先生方の園の目標にむけた真摯で粘り強い取り組みを高く評価できます。

東京保育専門学校校長 榎本勝己先生より

学校評価アンケート結果を拝見して

*保護者の方からの感想は、ほとんどの方が現状で良いということでした。

学園や保育者を本当に高く評価してくださっていると思いました。

*預かり保育は、一般的に長時間夜遅くまで預かることへの反対だと思いますが

現実では、仕事をしている方も多くありこれからは必要だと思います。

他園が実施されていない預かり保育は、これからも続けて頑張ってもらいたいです。

* 「子ども主体の保育」は、いろいろな場面で発揮されていたと思います。

保育者の中に、主体的な活動について「子どもからの思いを受け入れること」、
「環境の準備の難しさ」もありましたが、子どもからの思いをすべて受け入れること
は大変だと思います。したい放題や制限では無く、子ども達や保育者の考え、思い
の兼ね合いを見極める過程が、「子ども主体」になると思いますので過程を大切にさ
れますようにと思いました。

学校法人聖心学園 理事 相馬たゑ子先生より

保護者アンケートの回答率が高く、
幼稚園の教育に対する関心の大きさがうかがえます。
預かり保育実施についてリクエストが上がっていますが、
今後も貴園の方針を丁寧にお話されることで、
保護者に理解していただけることと思います。
教諭みなさまの反省に体調不良が散見されました。
次年度は健康にご留意いただき保育にご尽力ください。

聖心学園幼稚園 園長 柴崎公子先生より